
夢

望実

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

夢

【Nコード】

N1589B

【作者名】

望実

【あらすじ】

悲しい現実から、救ってくれたのは…誰もが見たことのある「夢」でした。

「夢」

それはとても曖昧なもの。現実と絡まりながら、見る人の想いと願いと記憶の中を魂がさまよっているのかもしれない。

夢は時折、人々を悲しい世界に連れていったり、恐怖の世界を味わせたりする。しかし、それとは対象的に人々を最高に幸せな気分させる事もある。

私の場合もそうだった。

恋人が亡くなったという悲しい現実から唯一私を救ってくれたのがあの夢であった。

夢の中で彼に逢う。夢の中で、彼は、私と同じ空の下で私と同じように息をし、生きていた。二人は、笑いながら会話を楽しんでいた。

心地良く響く彼の声に聴きいる私。

全てが完璧で、一つ一つが愛おしかった。

しかし、夢は夢。やがて夢は終わり、目覚めの時がやってくる。

私の夢は、夢の終わりに、彼が一生懸命何かを伝えようとするのだが、その言葉が聞き取れず、

「分からない。」

という私の一言で夢が終わり、目が覚めた。

最高の夢だけに、終わりが悔やまれ、何を言っていたのか、とても心にしない引つ掛かり、もう一度見たいと心から願っていた。

その夜、願いは叶い…。

私は再びあの夢を見る事ができ、大好きな彼に逢えたのだ。

しかし、また、最後の言葉が分からないまま終わりを迎えた。

私はどうしても聞きたくなり、二日、三日…一週間、一ヶ月と、ずっと夢願っては、夢を繰り返し見ていた。

それはまるでDVDのワン・シーンをずっと繰り返し見ているかのようだった。

それから間もなくして、私は気がついた。私は、た夢の中で夢を見ていたのだ。

恋人を亡くした悲しい現実になえきれず、大量の睡眠薬を飲み、意識を失ったまま、ずっと病院のベッドで眠り続けていたのだ。

愚かな私が夢から覚めた日に見た夢は、例の夢であったが、やっと最後まで見る事ができた。彼は、ずっと夢の世界の夢の中で、彼は、生きているのに、生きようとしてない私に、

「僕に分まで生きて。」

と言いつけていたのだ。

最後の言葉を知った私は、彼に対して申し訳無いと思い、涙を流した。

生きたいと思い、生きられなかった彼に、なんて馬鹿な姿を見せて

しまったのか…。

私は、いつか空の上で彼に逢える日が来るまで、彼に恥じる事の無いように、一人で、彼に生きていく事を誓ったのだ…。

それからというもの、夢から覚めた私が、あの夢を見る事は無かった。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1589b/>

夢

2011年1月25日23時07分発行